



彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク
あったかウェルねっとニュース 第15号

2012年1月25日発行

ホームページアドレス <http://www.geocities.jp/attaka17/>

平成24年 新年を迎え、東日本大震災でお亡くなりになられた方々のご冥福をあらためてお祈り申し上げますと共に、被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

ごあいさつ

あったかウェルねっと 初代副代表
 関 久子(新座市・第1期生)

平成24年新春、あったかウェルねっとは12年目を迎え、第一期生が11年の歳を重ねたこととなります。おりしも、実践集が発行の運びとなりました。世話人皆様の強力な「福祉教育」への思いが後押しし、また積極的に実践された課題を提供なさった推進員の皆様の福祉への熱い思いに触れることができました。

そして、改めて身体に不自由な動きをもつ方たちが、負けることなくひるむことなく、そのあるがままの身体で、心健やかに推進員としてのお役目をこなしていることに、真に「生きている」姿を見せていただきました。

私ごとになりますが、よる年波の故でしょうか、両足交互に骨折してしまい、後半は皆様とご一緒に活動ができなくなってしまいました。それでもお仲間に入れていただき、生き生きと「福祉教育」を実践活動なさっている皆様の勇姿を垣間見、「暖かな心で、一人ひとりを大切に思うつながり」を願う皆様とご一緒させていただいたことを誇りに思います。身体の動きは確かに不自由では

ありますが、だからこそ、不自由な中でこそ、たくさんの発見、工夫があり、また、暖かな心に接し、一日一日を大切に過ごしております。

皆様の更なるご活躍をお祈り申し上げます。本当にありがとうございました。

お知らせ

平成24年度 総会 及び 学習会

開催日：平成24年5月12日(土)
 会場：すこやかプラザ4F 会議室1・2
 (JR京浜東北線与野駅 西口 徒歩10分)
 対象者：1期から11期推進員
 年会費：1,000円(振込の方は4ページに記載)

平成24年度 ネット総会

受付：9時30分
 総会：10時～11時
 交流会&昼食：11時～12時45分
 ネットで軽食を用意します。

事前の申し込み
 を
 願
 い
 し
 ま
 す。

学習会

時間：13時～15時30分
 テーマ：「地域の中で、共に生きる」
 目的：県のノーマライゼーション教育の視点や、地域と福祉教育のこれからについて学び、今後の推進員活動に役立てる。
 講師：埼玉県立川口特別支援学校 教諭
 埼玉県社会福祉協議会 担当者
 連絡先：ねっと事務局横田 049-281-3161(FAX)
 メールアドレス：y-yae@xf7.so-net.ne.jp

報 告

平成 23 年 5 月・十周年記念事業

平成 23 年 28 日（土）午前、坂戸市文化施設「オルモ」で総会をおこなった後、十周年記念事業として、ノーマライゼーション「あったかコンサート&あったか体験」（12時50分～16時20分）をおこないました。

ねっと10年の歩み～そしてこれから

埼玉県社協柿沼和幸様、坂戸市長 伊利仁様よりお祝辞をいただく



埼玉県での10年間の福祉教育推進員たちの活動と出会いが県域に広がり、「ノ

ーマライゼーション社会の具現化」に向け、「あったかコンサート及びあったか体験」を通して交流し、共に生きる大切さと楽しさを再確認しました。

あったかコンサート ～ソプラノ独唱・ミニ講演～

ゲスト塩谷のぶ子さん（全盲のソプラノ歌手）の「自立・希望・共生・感謝」など、『共に生きる』メッセージや音楽（歌）に感動したことや、参加者へのあたたかい気持ちが伝わり、ボランティア活動に興味を持ったなど声が多く届きました。



十周年おめでとうございます

ねっと設立から今日まで助言支援いただいている「原田正樹先生」「佐藤陽先生」からのメッセージの一部をご紹介します。

埼玉県の福祉教育・ボランティア学習推進員の仕組みは全国的にも先駆的な取り組みです。地域住民が住民の視点を大切に、お互いに福祉を学びあうことができること。そのことが地域福祉の推進には何より不可欠です。

社会福祉とは何かを一方向的に教えることが福祉教育ではありません。地域の福祉課題に気づき、共有し、それを解決していくために知恵を出し合う。このプロセスには「学び」が必要です。この福祉の学びをこどもの頃から一生涯にわたって続けていくための仕組みとプログラムが大切です。

「あったかウェルねっと」の活動は、まさに住民主体でこのことに挑戦してきた10年間だったと思います。でも長く続けていくためには一人では限界があります。だからこそ志を同じくする仲間が集い、福祉教育の大切さを広げていくことに大きな意義があると思うのです。

この10周年を、次のステージにむけて歩みだす節目の年として、皆様と喜び合いたいと思います。

日本福祉大学 原田正樹

東日本大震災を契機に、私たちは改めて社会構造の根本的な見直しと新たな社会の創出に向けて本気で取り組む時が来たのだと思います。被災された方たちの多くは、自分のことより、他の人のことを思いやり、1つ1つのことに感謝をされながら、生かされていることへのありがたさを語られていました。こうした姿を拝見するなかで、人間らしく豊かに生きていくということは、ひとのことを思いやり、共にそれぞれのいのちを精一杯生かしていくことだと強く確信するようになりました。

埼玉県における福祉教育・ボランティア学習のあり方についても、新たな段階にはいるうとしています。これからはますます身近な地域で支え合う仕組みづくりと、それを担う人育てが求められ、「共育」が必要になるでしょう。

あったかウェルねっとも、メンバー1人ひとりの地域における活動を地道に進めることと共に、埼玉県全体の福祉教育・ボランティア学習の推進が図られるよう、圏域での啓発的な推進や、支援を必要とする市町村の推進に協力していただきたいと思います。

今後とも皆さんと共に私も自分の暮らす街、大学がある地域、この埼玉県で学び合い行動していきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

十文字学園女子大学 佐藤 陽

あったか体験

～生活での工夫いろいろ～

- ・ 推進員が普段の暮らしから、自分の生活便利グッズを準備、ブース体験を担当、交流。
- ・ 今回も企業の協力により会場全体に音声誘導装置の設置や音声誘導体験も。

～普段使っているものがお役に立ちグッズに！～

見えにくい(見えない)でも出来る



聞こえにくい(聞けない)でも出来る



歩きにくい(歩けない)でも出来る



あっちでこっちで、あったか体験中

十周年記念 実践集ができました

～副題「読むだけでしあわせになる」～



ねっと設立十周年を機会に、県内各地で活動する推進員の実践を、実践集にまとめました。学校や地域で福祉教育に取り組む際の参考にいただければ幸いです。

実践集～もくじより～

- 1 あったかウェルねっと10年間の軌跡
- 2 実践いろいろ

- (1)学校向け(小・中・高・大学など)
- (2)地域向け(大人・学校・地域向け、日常生活の中で、他)

3 資料編

内容についてはホームページをご覧ください。

<http://www.geocities.jp/attaka17/>

「あったかウェルねっと」で検索してください。

ねっと会員にお送りしました。どうぞご利用ください。

初任者研修で講師をしました

～今年度も、県高等学校初任者研修に協力～

会場：埼玉県総合教育センター行田本所

(交通；JR高崎線「吹上駅」北口からバス)

日時：平成23年11月30日(水)13:00～16:00

内容： 演習・・・視覚障害介助体験

講義・・・福祉教育の意義と進め方

人数：246名(8班)

演習を担当した推進員からの声

当初は無理だと思われた先生方の感想の時間がとれてよかったです。全員の方にお聞きしたところいろいろと出ましたが「この体験を通して相手の立場になって考える大切さを学びました。今後の教育に生かしたいと思います。」との感想を聞いて、体験は時間の長さではないことがあらためて分りました。



市町村情報よい

4社協の推進員が交流会
鶴ヶ島・川越・坂戸・東松山

9月24日(土)鶴ヶ島市富士見公民館にて、近隣4社協の推進員と県社協が一堂に会し、互いの活動を発表し合い、情報交換しました。ご参加くださった原田正樹先生からは、各社

協の特性がよく出ていた、福祉教育は地域性を生かしながら、皆で共生社会を創造していくことでしょうとエールをいただきました。

地域福祉組織の立ち上げ 飯能市で、地域に根ざし活動1年

ユニークな、地域福祉“加治東ふれあい広場”が始動しました。子どもから高齢者まで、障害あっても、誰でも参加できます。3世代での交流の場づくりからさまざまなイベントまで、みんなで運営している広場です。

ボランティア・社協・教育委員会が協力 桶川駅西口広場でボランティア講習会

桶川ドリームクラブ(ボランティア団体)は毎年、市民に呼びかけ、誰もが身近な駅周辺の公共の場でボランティアガイドヘルプ講習を実施し6年になりました。講習修了者には会員になって一緒にボランティア活動を続けている人もいます。

熊谷市では、災害が起きたら着けて！ 聴覚障害者支援でバンダナ 300枚

東日本大震災を受け、聴覚障害者から対策を求める要望がありました。熊谷市では、市聾者協会や市手話サークルの協力と、市内金融機関からの寄付金を基にバンダナを作成しました。

「耳が聞こえません」「手話が出来ます」の文字が印刷されているので、緊急時には、該当する方の面を身につけ周囲のサポートを得ることが期待されます。

県社協からの情報

福祉教育等実践強化検討会議を 実施しました

今年度、県社協では今後の福祉教育の事業展開について検討会議を2回実施しました。

あったかウエルねっとの横田様をはじめとして、施設職員や学校の先生、市町村社協職員の方から、各現場での福祉教育の現状や今後の展開について、ご意見をいただきました。

今後は、学校、地域、特別支援学校、施設、企業など、様々な機関・団体とのつながりの中で福祉教育が広がっていくよう取り組んでまいりますので、引き続き、推進員の皆様のご支援ご協力をよろしくお願いたします。

ねっと事務局より

福祉教育等実践強化検討会議 世話人会でも意見交換してきました

県推進員養成研修は県域での繋がりができ地域の活動に大変役立っているため県域での研修は必要だ。一方、著しく社会環境が変化している現状を分析し、県主導で「推進員の役割」を明確にする仕掛けも必要である。等々

世話人会は 奇数月の第2土曜日

今年度も埼玉県社会福祉協議会の協力を得て、奇数月第2土曜日午後1:00から、彩の国すこやかプラザにて、世話人会を開催しています。県域の方との交流や情報交換ができますので、皆様のご参加をお待ちしています。

会費振込先のお知らせ

ねっと活動は、ねっと会費(年1000円)で運営しています。推進員のみなさまのご加入と会費納入のご協力をお願いします。

振込先：埼玉りそな銀行武蔵浦和支店・

普通預金口座番号：5015782

名義：彩の国福祉教育ボランティア学習推進員ネットワーク

発行：彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク

(愛称：あったかウエルねっと)

編集：あったかウエルねっと世話人会(情報担当)

連絡先：埼玉県社会福祉協議会 地域連携課

(TEL: 048-822-1192 FAX: 048-822-1449)

担当：川村(VC@fukushi-saitama.or.jp)